

2005年4月1日付新入社員の入社式について

1. 新日鉱グループのコア事業4社である、株式会社ジャパンエナジー(本社:東京都港区虎ノ門二丁目、社長:高萩光紀)、日鉱金属株式会社(本社:同、社長:大木和雄)、株式会社日鉱マテリアルズ(本社:同、社長:岡田昌徳)および日鉱金属加工株式会社(本社:神奈川県高座郡寒川町倉見、社長:足立吉正)の4社は、本4月1日、次のとおり新入社員を迎えました。

		ジャパンエナジー	日鉱金属	日鉱マテリアルズ	日鉱金属加工
大学院・大学卒社員		21(18)	12(14)	11(6)	5(9)
(内訳)	事務系	14(12)	5(3)	5(4)	3(3)
	技術系	7(6)	7(11)	6(2)	2(6)
高校卒社員		13(13)	10(6)	4(0)	4(4)
計		34(31)	22(20)	15(6)	9(13)

※()内は昨年度実績。

※ 大学院・大学卒社員技術系には、高専卒社員を含む。(今年度日鉱金属採用1名、昨年度日鉱金属採用2名)

2. 本日、各社社長は、入社式でそれぞれ訓示を行いました。その要旨は次のとおりです。

・ジャパンエナジー社長 高萩光紀

『当面、石油が一次エネルギーの太宗を占めることは間違いないが、昨今、中国やインドの経済発展等を背景に原油価格が高騰しており、わが国は政治的に不安定な中東への依存度が高いだけに、石油事業に携わる私たちにとって最大の懸念材料である。

こうした中、当社は、長らく続いた「守り」の時代から「攻めの経営」に大きく転換しようとしている。この転換期に入社される皆さんには、共に戦っていく仲間として大きな期待をしているが、次のことを心がけるようお願いしたい。

1. 担当する仕事の持つ意味や、それが会社全体に与える影響を考えながら仕事をする。
2. 有益な情報を的確に見定める目を養う。
3. 「企業人」である前に「良き社会人」であり、良識ある世の中のエナジーとなるべく自己研鑽に励む。』

・日鉱金属社長 大木和雄

『当社の属する資源・金属事業、とりわけ銅事業は今後も確実な成長が期待されている。その中で当社は既存事業の体質強化・構造改革を進めつつ、成長戦略の推進と高収益事業の拡大を図ることとしており、このことは皆さんにとっては、グローバルな場で経験を積むことができるチャンスが多い未来が待っていると見える。

皆さんには次の4点を心がけていただきたい。

1. 非鉄素材を内外の多くの顧客に提供している当社の事業に誇りと愛着を抱くとともに、自分の仕事に自信を持って臨む。
2. 職場の中のコミュニケーションを密にして組織力を上げ、個人の力を超えた真の改善、改革に取り組む。
3. ムダをなくして効率的に仕事をする。
4. 業務の基礎を早期に身につけ、当社の変革に参加し、誠実で信義を重んずる国際人に成長する。』

・日鉱マテリアルズ社長 岡田昌徳

『当社は新日鉱グループ内で高い成長を期待されている。みなさんは自分の担当する業務で当社の中核的存在になることを期待している。

皆さんには次の3点について心がけていただきたい。

1. 英語をしっかり勉強する

当社は売上げの半分以上が海外向けであり、当社グループは海外のローカル社員の方が日本人よりも多い。我々は海外ローカル社員をリードすべき役割を担っており、そのコミュニケーションのためにも最低限英語は使えるように

してほしい。

2. コンプライアンスの意識を持つ。

企業も社会的な存在である。社会の一員として義務と責任を果たすことを肝に銘じてほしい。

3. 仕事に価値を見出す。

プライベートな生活を充実させていただくのも素晴らしいことであるが、これからのみなさんの生活時間の大部分は会社生活となる。仕事でやりがいを感じることができるよう価値を見出してほしい。』

・日鉱金属加工社長 足立吉正

『当社は、《質を伴った事業規模の拡大》をキーワードに、「IT関連分野に加え、自動車関連分野への積極展開」、「関係会社事業の拡大と中国への展開」を重点方針としてグループ一体となった活動をスタートしている。それには当社の持つ高い技術力・製品開発力・営業力に加え、皆さんの若いエネルギーと不断の努力が必要である。

皆さんには次の3点をお願いしたい。

1. しっかりした目標、夢を持つ。
2. 全体感・バランス感を持つ訓練をする。
3. 絶えず正義感を持つ。』

3. また、新入社員を一同に会し、**新日鉱ホールディングス 清水康行社長**が新日鉱グループを代表して要旨次のとおり訓示を行いました。

『若さ溢れる皆さんを、当グループのコア要員として迎えることができ、喜ばしい限りである。

当グループは、グループ構成員が力を結集して勝負する企業体であり、そのうえでコラボレーションが重要である。コミュニケーション能力を高め、「相手の話を良く聞き、自分の考えをきちんと相手に伝える」ことを心がけていただきたい。

また、当グループの事業は、経済のグローバル化が一層進行するなか、世界各国で事業を展開している。皆さんには、グローバルに通用する人材となるために、語学の習得をはじめ研鑽に励んでいただきたい。』

※ 役員氏名につきましては、漢字コードの関係により、一部本来の表記と異なりますので、ご留意下さい。

以上